

～富士見生の今を伝える～

# コミュニティ通信 Neo



静岡県富士見高等学校  
コミュニティ研究会



シュピロフ・エミリアさん

**留学生**

## ドイツから来年6月まで エミリアさんようこそ

8月28日、富士見高校に留学生としてドイツからシュピロフ・エミリアさんが来校しました。滞在期間は2023年8月24日から2024年6月16日まで10ヶ月間で、特進1年3組で過ごすことになりました。

エミリアさんはア  
ニメをきっかけに日本に興味を持ち、日本の日常、学校生活、人々の考え方を体験して見たいと思ったそうです。  
日本語の学習歴は1年と2ヶ月で、プライベートレッスンやアプリ、YouTubeなど使用しながら日本語を学び、ひら

がな、カタカナの読み書きができるようになったそうです。  
家では、ドイツ語とロシア語を使用してその他、英語とスペイン語も話せます。

### コンビニで

日本に来てから感じたドイツとの違いについてエミリアさんは「日本の歩道はドイツと違って狭いことに驚いた。その他にも自販機の飲み物が冷たくてびっくりました。ドイツだと自動販売機は珍しくて値段も高いです。コンビニもドイツにはあまりなく日本に来た時に街中にたくさんあって驚きました。あと、日本の学生は制服を着ていますが、ドイツには制

### 趣味はテコンドー

趣味はテコンドーで、週に2時間ほど練習しているそうです。機会があれば日本の武道にも関わりたいとのことでした。

服がありません。毎日私服で生活しています。なので日本の制服を見てとても高価だと感じました。ここまで学校で生活をして、1日の学校生活の時間も長いと感じます。私の学校では学校にいる時間が8時から13時までなので、とても忙しく感じます」と語ってくれました。

### 友達の描いた

エミリアさんが富士見高校でやりたいことは、「新しい人文化と出会い、自分を成長させること。たくさんの方と作りたい。そして友達と買い物に行きたい。短い間ですが、1人でも多くの人と友達になりたいと思っています。どうぞよろしくお願いします」と語ってくれました。

「担当・加藤 山崎」

8月末、ユニセフからトルコ・シリア地震の寄付への感謝状が届きました。富士見高校生徒会とコミュニティ研究会では、2月に起きたトルコ・シリア地震の被害者救済の募金活動を続けてきました。3月中旬から学校や富士見本町商店街「楽々市」、富士川楽座などで実施し、その結果42万3748円の寄付金が集まりました。

## トルコ・シリア募金 ユニセフから感謝状



今村副部長（左）と佐藤前生徒会長